



# 志免西小 校長室から “こんにちは！”

平成30年10月1日(月)  
No. 6 文責 陶山嘉一

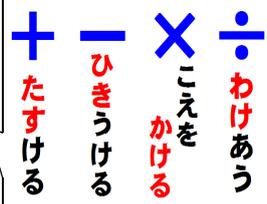
## “思いやり算”と“西っ子運動”が確かにできる後期へ！

前期（4月6日～10月5日）も終わろうとしています。保護者、地域の皆様には、本校の**共育活動**へのたくさんのご支援、ご協力をいただき、**本当にありがとうございました**。後期（10月9日～）も引き続き、よろしくお願ひいたします。

さて、本年4月に私が本校に着任してから、毎日子どもたちに話している言葉があります。それは**“思いやり算”**です。子どもたちが登校する時には正門のところで、登校後は廊下ですれ違うときなど、他者への思いやり行動が見られたときの称賛の言葉として、シャワーのように投げかけています。この半年で、言われなくても子どもたちも下のような思いやり行動をとる姿が少しずつではありますが、確かに増えてきていると感じています。



正門前のバス停の迂回



廊下の右側通行

まずは1207名全員が、思いやり算を『**言える**』ことを目指しています。次に『**できる**』ことにつないでいきたいと思ひます。最後には、思いやり行動の大切さや価値が実感として『**わかる**』ことへと深めていきたいと考えています。そのためには、**共育**が必要だと考えています。学校でも、お家でも、地域でも**同じことを指導する（大人の人の言葉がぶれない）**ことで、子どもたちの成長はより確かなものになるものと考えています。ぜひ、ご家庭でも地域でも、**人とつながる合言葉**として「思いやり算で、たすけてくれてありがとう。」「思いやり算で、道をわけあって通るとみんなが幸せだよ。」などと**思いやり算**を使って、子どもたちを**称賛**したり、**方向付け**たりしていただけるとありがたく思ひます。

また、夏休み明けから**“西っ子運動”**を展開しています。これまでの本校の取組を整理し、**全ての子どもに届くために合言葉**としたものです。“思いやり算”同様、全ての子どもが『**言える**』→『**できる**』→『**わかる**』ように、後期から指導を積み上げていきます。特に、“西っ子運動”の「**にこにこあいさつ**」をいつでも、どこでも、だれにでもできることは大人でも難しいことだと思ひます。学校はもちろん、家庭も地域も**あいさつ**いっぱい、**笑顔**いっぱいになる後期にしていきたいと思ひます。



後期始業式では、以下のことも子どもたちにお話ししたいと考えています。ご家庭や地域でも機会があればお話しいただければ**ほくミライマン**です。有り難いです。

### 後期始業式での子どもたちへのお話（一部）

#### ○「さくらんぼ学級・通級教室」について

→私たちの回りには、様々な困り感を抱える方（車いすの方、目の不自由な方等）がいる。もちろん、本校にも。みんなが共に学び、共に生活するために、いろいろな条件整備が必要なこと。その中に、さくらんぼ学級や通級教室があること。特に、私たちの心の準備（理解）が必要であること。

